

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

「学校だより」と「校長だより」

「学校だより」は、学校の行事や出来事を中心に、教頭文責のもと月1回発行する予定です。職員の紹介は、「学校だより」に掲載しています。

一方、校長文責の「校長だより」を月2回発行する予定です。本号のように、表面に「学校だより」を、裏面に「校長だより」を掲載する場合があります。「校長だより」の号数は、私が赴任した一昨年度からの通算としています。ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

「校訓」と「校歌」

校訓の「高い理想、清い心、熱い想い」は、校歌の歌詞をもとに、校訓制定委員会（委員長は中部地区自治協の河野会長）において令和元年10月15日に制定いたしました。参考までに校歌の全文を掲載いたします。アンダーラインが校訓に関する部分です。

「校歌」	作詞 河野 左千子	作詞 七田 英明
（平成13年4月、戸尾小と光園小が統合し祇園小として開校した際に制定）		
一	萌え出す緑 鳥帽子に 駆ける足音 元気よく 若い命の 集う丘	
	<u>理想を高く</u> 学ぼうよ 母校は祇園 祇園小学校	
二	九十九島の 波の音 耳を澄ませば ハーモニー <u>清い心の</u> 弾む庭	
	手を取り合って 歌おうよ 母校は祇園 祇園小学校	
三	心はひとつ 学び舎に 希望は空へ はばたいて <u>熱い想いが</u> かけ巡る	
	未来を見つめ 飛び立とう 母校は祇園 祇園小学校	

「祇園歴史の旅」

一昨年度来、「祇園歴史の旅」のコーナーを設け、郷土史誌などを参考に、地域の歴史などを紹介してまいりました。今年度は、祇園小学校の学校沿革誌等と国内外の当時の出来事などを振り返りながら、祇園小学校の歩みをご紹介します。なお、一昨年度・昨年度の「祇園歴史の旅」は、祇園小学校のホームページに掲載しています。

祇園歴史の旅（その60）「0周年（開校年度）の祇園小とその時代」

祇園小学校沿革誌と学校要覧によると、戸尾小学校（明治37年2月創立）と光園小学校（明治42年4月創立、当時は祇園小学校の名称で創立、その後、大正6年に光月尋常小学校創立、大正8年には光月・祇園両校が合併して光園尋常小学校創立）を統合して平成13年4月1日、祇園小学校が開校しました。当時の全校児童数は、343名であり、現在より約140名程度少ないです。ドーナツ化現象で市内中心部の人口が少なくなっていた時代です。開校に合わせ、校歌と校章も制定され、6月4日には、第4校舎、体育館、プールの落成式も兼ねて開校式が挙行されました。初代校長は徳永彰校長です。

また、インターネット記事によると、当時の主な出来事は、次のとおりです。平成13年3月31日USJが大阪にオープン。4月29日小泉内閣発足。6月8日大阪池田小学校事件発生。9月4日東京ディズニーシーオープン。9月11日アメリカ同時多発テロ発生。平成14年2月9日ソルトレイクシティ冬期五輪開幕。

今回は、「1周年の祇園小とその時代」と題して、1周年年度の祇園小学校の出来事や平成14年4月～15年3月までの日本内外の主な出来事などをご紹介します…。